

平成22年12月期 第1四半期決算短信

平成22年5月13日

上場取引所 東

上場会社名 ビリングシステム株式会社
 コード番号 3623 URL <http://www.billingjapan.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長
 四半期報告書提出予定日 平成22年5月14日
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 江田 敏彦
 (氏名) 住原 智彦

TEL 03-5405-8671

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年12月期第1四半期の連結業績(平成22年1月1日～平成22年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年12月期第1四半期	287	—	34	—	34	—	37	—
21年12月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年12月期第1四半期	2,395.85	—
21年12月期第1四半期	—	—

(注) 1. 当第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成21年12月第1四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。
 2. 平成22年12月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、希薄化効果を有する株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年12月期第1四半期	4,551	1,391	30.6	89,787.31
21年12月期	—	—	—	—

(参考) 自己資本 22年12月期第1四半期 1,391百万円 21年12月期 —百万円

(注) 当第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成21年12月期の数値については記載しておりません。

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
22年12月期	—	—	—	—	—
22年12月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年12月期の連結業績予想(平成22年1月1日～平成22年12月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	581	—	75	—	75	—	78	—	5,077.19
通期	1,274	—	208	—	209	—	223	—	14,411.03

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

(注) 連結業績予想につきましては、当第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期及び対前年同四半期の増減率については記載しておりません。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有
 新規 1社 (社名 トランスファーネット株式会社) 除外 1社 (社名)
 (注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
 (注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
 ② ①以外の変更 無
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- | | | | | |
|----------------------|--------------|---------|--------------|---------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 22年12月期第1四半期 | 15,503株 | 21年12月期 | 15,503株 |
| ② 期末自己株式数 | 22年12月期第1四半期 | 1株 | 21年12月期 | 1株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 22年12月期第1四半期 | 15,503株 | 21年12月期第1四半期 | 15,503株 |

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社において判断した見通しであり、潜在的なリスクや不確実性を含んでおりません。実際の業績は、様々な要因の変化により、これら業績見通しとは異なる結果となることをご承知の上、投資判断を下される様お願い致します。なお、当社は、当第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、アジア地域を中心とした海外経済の回復に伴い景気回復の兆しが見られるものの、引き続き雇用情勢は厳しく、また企業の設備投資も抑制傾向が続いており、本格的な景気回復に至っているとは言えず、今後もデフレや為替変動等が懸念され、先行き不透明な状況で推移しております。

こうした状況の中、当社グループの業務受託事業については、主にオンライン証券、外貨証拠金取引業者向に提供しているクイック入金サービスが61,565千円、主に損害保険会社に提供している収納代行サービスが177,689千円となり、その他サービスと合わせて268,156千円となりました。

コンサルティング事業では、クイック入金サービスの初期売上等があり、合計で19,776千円となりました。

この結果、当第1四半期連結会計期間の業績は、売上高287,933千円、営業利益34,062千円、経常利益34,035千円、四半期純利益37,142千円となりました。

なお、平成22年1月に、トランスファーネット株式会社を子会社化したことに伴い、当第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期との比較は行っておりません。

2. 財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、4,551,875千円となりました。主な内容は、流動資産では、現金及び預金3,907,953千円、売掛金270,047千円であり、固定資産では、有形固定資産及びその他無形固定資産37,773千円、のれん21,341千円、投資その他の資産47,056千円であります。

当第1四半期連結会計期間末における負債は、3,159,902千円となりました。主な内容は、預り金2,963,778千円、短期借入金100,000千円であります。

当第1四半期連結会計期間末における純資産は1,391,972千円となりました。主な内容は、資本金1,154,088千円、利益剰余金217,595千円であります。

(注) 当第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前連結会計年度末との比較は行っておりません。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、3,907,953千円となりました。

当第1四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況と、その要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は311,317千円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益34,035千円の計上に加え、収納代行サービスの伸長に伴う預り金の増加234,710千円及び、ファイナンスサービスに伴う買取債権の減少96,857千円等の資金の増加があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により得られた資金は2,308,086千円となりました。これは主に、連結の範囲の変更に伴う子会社株式の取得によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は3,332千円となりました。これは長期借入金の返済による支出によるものであります。

(注) 当第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前連結会計年度末との比較は行っておりません。

3. 業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間までの業績は概ね当初計画どおりに推移しており、平成22年2月12日に公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
平成22年1月に業務の連携強化及び経営効率の向上を目的とし、当社の持分法適用関連会社であるトランスファーズ株式会社を追加取得し連結子会社としました。
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
固定資産の減価償却費の算定方法
定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によりております。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
該当事項はありません。

1 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

当第1四半期連結会計期間末
 (平成22年3月31日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	3,907,953
売掛金	270,047
買取債権	103,312
商品	83,095
その他	81,295
流動資産合計	4,445,702
固定資産	
有形固定資産	16,530
無形固定資産	
のれん	21,341
その他	21,243
無形固定資産合計	42,584
投資その他の資産	47,056
固定資産合計	106,172
資産合計	4,551,875
負債の部	
流動負債	
買掛金	41,448
短期借入金	100,000
1年内返済予定の長期借入金	3,352
未払法人税等	1,414
預り金	2,963,778
賞与引当金	2,529
その他	47,379
流動負債合計	3,159,902
負債合計	3,159,902
純資産の部	
株主資本	
資本金	1,154,088
利益剰余金	217,595
株主資本合計	1,371,683
少数株主持分	20,288
純資産合計	1,391,972
負債純資産合計	4,551,875

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年3月31日)
売上高	287,933
売上原価	171,929
売上総利益	116,004
販売費及び一般管理費	81,941
営業利益	34,062
営業外収益	
受取利息	472
その他	30
営業外収益合計	502
営業外費用	
支払利息	529
その他	0
営業外費用合計	529
経常利益	34,035
税金等調整前四半期純利益	34,035
法人税、住民税及び事業税	417
法人税等調整額	4,939
法人税等合計	4,521
少数株主利益	1,414
四半期純利益	37,142

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間
(自平成22年1月1日
至平成22年3月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	34,035
減価償却費	3,476
のれん償却額	1,123
受取利息	472
支払利息	529
売上債権の増減額(は増加)	55,020
買取債権の増減額(は増加)	96,857
たな卸資産の増減額(は増加)	1,967
仕入債務の増減額(は減少)	24,046
未払金の増減額(は減少)	74,862
預り金の増減額(は減少)	234,710
賞与引当金の増減額(は減少)	2,529
その他	18,492
小計	312,376
利息及び配当金の受取額	419
利息の支払額	529
法人税等の支払額	950
営業活動によるキャッシュ・フロー	311,317
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	244
無形固定資産の取得による支出	292
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	2,308,473
従業員に対する長期貸付金の回収による収入	150
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,308,086
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	3,332
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,332
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	2,616,071
現金及び現金同等物の期首残高	1,291,881
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,907,953

当第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前連結会計年度末及び前第1四半期連結会計期間の財務諸表等につきましては、記載しておりません。

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第1四半期連結会計期間(自平成22年1月1日至平成22年3月31日)

決済取次事業の売上高及び営業利益の金額は、全セグメントの売上高の合計及び営業利益の金額の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

当第1四半期連結会計期間(自平成22年1月1日至平成22年3月31日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

当第1四半期連結会計期間(自平成22年1月1日至平成22年3月31日)

海外売上高がないため、該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

「参考資料」

前事業年度末及び前第1四半期会計期間に係る財務諸表
(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	1,291,881
売掛金	299,548
買取債権	200,169
商品	85,062
その他	65,185
流動資産合計	1,941,847
固定資産	
有形固定資産	17,845
無形固定資産	22,867
投資その他の資産	83,715
固定資産合計	124,428
資産合計	2,066,275
負債の部	
流動負債	
買掛金	43,823
短期借入金	100,000
1年内返済予定の長期借入金	6,684
未払法人税等	2,814
預り金	436,311
その他	142,100
流動負債合計	731,734
負債合計	731,734
純資産の部	
株主資本	
資本金	1,154,088
利益剰余金	180,452
株主資本合計	1,334,541
純資産合計	1,334,541
負債純資産合計	2,066,275

(注) 当社は、当第1四半期連結会計期間より連結財務諸表を作成しているため、個別財務諸表を参考資料として記載しております。

(2) 四半期損益計算書

(単位：千円)

科目	前第1四半期累計期間 (自 平成21年1月1日 至 平成21年3月31日)
売上高	222,804
売上原価	118,873
売上総利益	103,931
販売費及び一般管理費	69,576
営業利益	34,354
営業外収益	386
営業外費用	142
経常利益	34,598
税引前四半期純利益	34,598
法人税、住民税及び事業税	237
四半期純利益	34,361

(注) 当社は、当第1四半期連結会計期間より連結財務諸表を作成しているため、四半期財務諸表等規則に基づいて作成した四半期個別財務諸表を参考資料として記載しております。

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	前第1四半期累計期間 (自 平成21年1月1日 至 平成21年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	34,598
減価償却費	4,263
受取利息	370
支払利息	142
売上債権の増減額(は増加)	24,810
買取債権の増減額(は増加)	42,640
たな卸資産の増減額(は増加)	68,857
前渡金の増減額(は増加)	71,021
仕入債務の増減額(は減少)	855
預り金の増減額(は減少)	301,975
賞与引当金の増減額(は減少)	2,421
その他	11,820
小計	316,400
利息及び配当金の受取額	305
利息の支払額	142
法人税等の支払額	950
営業活動によるキャッシュ・フロー	315,613
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	377
無形固定資産の取得による支出	823
長期前払費用の取得による支出	208
従業員に対する長期貸付金の回収による収入	300
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,109
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	3,332
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,332
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	311,172
現金及び現金同等物の期首残高	676,930
現金及び現金同等物の四半期末残高	988,103

(注) 当社は、当第1四半期連結会計期間より連結財務諸表を作成しているため、四半期財務諸表等規則に基づいて作成した四半期個別財務諸表を参考資料として記載しております。